

20年のあゆみ

～大刀洗町社会福祉協議会法人化20周年記念誌～



住みたいまち大刀洗
住んでよかった大刀洗町

社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

目 次

会長あいさつ	1
法人化 20 周年に寄せて (祝辞)	2～5
大刀洗町長 安丸 国勝	
第 3 代会長 横溝 芳夫	
第 4 代会長 床島 一弘	
第 5 代会長 古賀 芳男	
衆議院議員 鳩山 邦夫	
福岡県議会議員 井上 忠敏	
大刀洗町議会議長 長野 正明	
福岡県社会福祉協議会会長 平山 良明	
記念式典	6～7
特別表彰	7
20 年のあゆみ	8～11
小地域福祉活動のあゆみ	12～13
各区の小地域福祉活動	13～25
保育園事業	26
ボランティアのあゆみ	27～31
歴代役員一覧	32～33
編集後記	34

会長あいさつ



『法人化 20 周年を迎えて』

社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会
会長 柳 好

大刀洗町社会福祉協議会は、平成5年3月に社会福祉法人として認可を受け、住民の皆様をはじめ関係各位のご指導とご支援により、今年で法人化20周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、本会の組織・活動の基盤づくりに尽力された歴代会長をはじめ役職員の皆様と、本会諸事業に対する関係機関並びに住民の皆様のご理解・ご協力の賜と心より厚くお礼申し上げます。

さて、本会が法人化した平成5年当時から考えますと、社会福祉を取り巻く状況は大きく変化しております。在宅福祉の充実を目的に開始された介護保険制度が開始されたのが15年前で、当時から考えますと現在は少子高齢化社会が進み、地域や家族の在り方が大きく変化する中で、その生活課題も多様化し、公的なサービスでは対応できないニーズが日々浮き彫りになってきているのが現状です。

このような状況の下、地域福祉を推進する役割を担う社会福祉協議会といたしましては、要援護者見守りネットワーク事業の推進やミニデイサービスへの支援、福祉バス運行事業、ボランティアの育成や当事者団体の組織化など、誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができる地域をめざし、住民を主体とした事業を展開してまいりました。また、平成21年度からは町立保育所の民営化により、新たに大堰保育園、本郷保育園として保育園運営を開始し、0歳から高齢者まで幅広い福祉の提供ができるようになりました。今後も、地域、各種団体、関係機関、行政等との協働のもと、いま必要とされているニーズ、そして声なき潜在化しているニーズに耳を傾け、『住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町』を目指し、大刀洗町の福祉増進に邁進致します。

結びに、20年にわたる本会活動を振り返り、これまでご尽力賜りました皆様に敬意を表しますとともに、今後とも、本会事業並びに地域福祉の推進に、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



ぬくもりの館 大刀洗

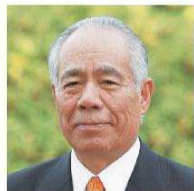


大堰保育園



本郷保育園

大刀洗町社会福祉協議会法人化20周年に寄せて



大刀洗町 町長 安丸 国勝

大刀洗町社会福祉協議会が法人化20周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

平成5年3月に法人化され今日まで大刀洗町の地域福祉の発展に貢献されてこられたことに、改めて敬意と感謝の意を表します。

さて、当町は住民投票において合併しないことを選択し「新たなまちづくり」に英知を絞り、行政と住民が一体となった町づくりに取り組んでいるところです。一方、社会福祉を取り巻く環境も大きく変化しています。特に少子高齢化が他に類も見ない速さで進む中、住民の福祉に対するニーズも増加し多種多様化しています。

町では、第4次大刀洗町総合計画に「健康で安心して暮らせる明るい町づくり」を掲げていますが、誰もが住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らし続けることができる、支え合う地域社会づくりのためには、社会福祉協議会との連携は欠くことができません。

又、平成21年4月からは、児童福祉の推進と子育て支援の一躍を担っていただき、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに貢献していただいています。社会保障制度のめまぐるしく変革している今日、地域福祉を進める社会福祉協議会には、多くに住民や民間組織・団体等との参画のもとに行政と連携して地域における住民の幸福を求めて推進役を果たされることを期待しています。

今後も「ゆりかごから墓場まで」という人の一生に関わる福祉の拠点になっていただき、今まで同様お力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、大刀洗町社会福祉協議会のますますの発展と、皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げてお祝いの言葉とさせていただきます。



第3代会長 横溝 芳夫

新しき年を迎え、本年は殊の外寒さきびしい日が続いたなかにも早春を迎え、草木の芽も息吹はじめる候となりました。

この度、大刀洗町社会福祉協議会におかれましては、平成5年に法人化して、茲に20周年を迎えられましたことは、誠に御目出度く、衷心より、お祝と、お喜び申し上げます次第でございます。

振り返って見れば、従前には歴代の町長が社会福祉協議会の会長を兼務されていて、現在は人生80年を超える長寿社会が到来し、高齢化が進行している中に、社会福祉事業の重要性が高まり、会長の専任制が強く要望されたと聞き及んでおります。

私が大刀洗町の役員任期が終了した翌年平成10年に、不肖な私が浅学非才ながら、会長の要職に就任致しました。

当時の重要な案件として、平成12年4月より施行された「公的介護保険制度」の実施について、大刀洗町社会福祉協議会の取り組み等について、慎重に審議検討致しましたことを覚えております。

理事会・評議員会の皆様のご熱意あるご努力と、大刀洗町歴代の町長の理解ある絶大なるご支援・ご指導を賜って、現在の大刀洗町社会福祉協議会の発展があったと、改めて深く感謝申し上げます厚くお礼を申し上げます次第でございます。

終わりにのぞみ、大刀洗町社会福祉協議会の益々の発展を祈念致しましてお祝いの詞と致します。



第4代会長 床島 一弘

社会福祉協議会の法人化20周年記念を心からお祝い申し上げます。社協は、急激な事業の拡充強化を図ってきた感が致します。

振り返ってみますと、私は、平成12年に会長に就任しましたが、当時はミニデイ事業の推進・生活管理指導員派遣事業・福祉バスの運行事業を行い、職員は6名が従事していました。ミニデイ事業に力を注ぎ、全地区の参加を目指して推進してきました。区長・民生委員・老人クラブの方々にご支援・ご協力を頂き、現在ではほぼ全地区が実施されていると聞き大変喜んでおります。

当時、中央公民館の一室で執務していましたが、事務所が狭かった為、平田喜次郎元町長に相談しました処、温かいご理解とご協力を戴き、平成14年には、大刀洗町の福祉活動の拠点として「ぬくもりの館大刀洗」を開設することができました。

また、多くのボランティア組織を中央に結集し、組織同志の連携を深め、機能効果を高める連絡協議会の設立を促進してきました。高齢者・障がい者・子育て支援には、ボランティア活動は重要です。平成13年5月にボランティア連絡協議会が設立され、活発な活動が続けられています。

退任後も社協は、子ども見守り隊の結成、校区センター指導員の配置、大堰・本郷保育園の民営化などが行われ、事業は益々拡大し、職員は70名を越え、一大事業の組織体へ発展・成長してきました。社会情勢は厳しく、地域福祉に対する町民の期待は大きいものがあります。

福祉に携わる皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



第5代会長 古賀 芳男

大刀洗町社会福祉協議会法人化20周年の記念すべき年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

思えば、私は平成16年6月1日に会長就任いたしました。少子高齢化が進み、核家族化の影響もあり、独居高齢者・高齢者夫婦の二人暮らしなど増加の傾向にある環境の中、多くの方々に安全・安心で信頼される社会福祉協議会であることが重要でした。

当時は町村合併協議の最中で、着任4日後には小郡市社会福祉協議会との合併協議会に出席、その1か月後には解散となったことを覚えています。第4回福岡県ねりんスポーツ・文化祭、甘木・朝倉・筑後地区ソフトバレーボール交流会、ボランティアセンター設立及び記念式典、子ども見守り隊の立ち上げ、ボランティアフェスティバル講演会、福祉有償運送事業の推進など、数多くの事業に携わることができました。また地域のたくさんの方々との出会いは私の宝となりました。

大刀洗町社会福祉協議会の益々のご発展とみなさま方のご健康・ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。



衆議院議員 鳩山 邦夫

本日ここに、大刀洗町社会福祉協議会の法人化 20 周年を迎えられましたことを、誠に慶賀の至りとお慶び申し上げます。

大刀洗町社会福祉協議会は、平成5年に法人化されまして、はや 20 年を経過いたしました。その間、会員各位には奉仕の精神をもって、社会福祉の向上のために御活躍賜り、町民生活安定のため、大刀洗町発展のため、大きく御貢献いただいておりますことに対し、厚くお礼を申し上げる次第であります。

また、関係者の皆様方は、各界各層において、町内のあらゆる福祉事業の担い手として、それぞれのお立場から地道に、そして使命感を忘れることなく、地域住民本位の活動に専念されてこられました。今日地域福祉活動の礎は、皆様方のこのようなたゆみない御尽力があつてこそ築かれてきたものであり、そのお一人お一人のお力が、大刀洗町ひいては日本の社会福祉の原動力であり、推進力であります。

これまでの皆様方の御努力に改めて深く感謝を申し上げますとともに、今後とも皆様方の深い経験に裏付けられた活動の実践を、引き続き賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後に、20 周年という節目を新たな出発点として、大刀洗町社会福祉協議会の今後ますますの御発展と皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



福岡県議会議員 井上 忠敏

貴協議会が本年で法人化 20 周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、当地区におきまして、「福祉のまちづくり」に向けて、社会福祉事業およびその支援を続けてこられ、数々の実績とともに多大なる貢献をされてこられました。

当地区選出の県議会議員といたしまして、心からの敬意と感謝の気持ちにたえません。

なにかと人と人とのつながりが希薄な昨今ですが、当地区における、貴協議会の事業が、優しい人づくりのために1役も2役もかかっていると私は確信しています。

私も、微力ながら、「福祉のまちづくり」推進に、貢献してまいり所存であります。

最後になりましたが、貴協議会におかれましては、活動のさらなる飛躍を期待し、今後とも当地域の社会福祉の向上のためにご尽力・ご指導をお願いするものであります。

貴協議会のますますの、ご発展をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



大刀洗町議会 議長 長野 正明

大刀洗町社会福祉協議会が、法人化 20 周年を迎えられます事を心よりお慶び申し上げます。

少子高齢化を迎え、福祉事業の在り方が多様する中で、行政ではまかないきれない部分を担って頂いております社会福祉協議会の役割は、重要性を増すばかりであります。

現在でも、子ども達の安心、安全の為の見守りへの支援、ボランティア活動の推進、福祉バスの運行、ミニデイサービスの支援などの地域福祉活動や、車椅子貸し出し、手話通訳派遣などの障害者福祉の推進、その他、居宅介護支援、共同募金活動など多岐にわたっております。

又、平成 21 年度より、町立保育所の民営化の受け皿として、本郷、大堰保育園の経営にあたって頂き、保育環境の一層の充実を町と一体となって取り組まれ、立派にその実績を上げて来ておられます。

これからも大刀洗町福祉のきめ細やかな対応をお願い致します。



社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
会長 平山 良明

この度、大刀洗町社会福祉協議会が法人化 20 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会は、昭和 30 年の発足以来、住民主体による誰もが安心して暮らせるまちづくりに大いに寄与され、平成5年には社会福祉法人の認可を受け、地域福祉推進の中核団体として時代のニーズに応じた事業、活動に取り組んでこられました。

これもひとえに、柳会長をはじめとする歴代役職員の皆様のご努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

社会・経済環境が大きく変化する現在、地域では従来の福祉施策・制度のみでは対応することが困難な生活課題があふれています。貴会におかれましては、法人化 20 周年をさらなる飛躍への契機として、「住みたいまち大刀洗、住んでよかった大刀洗町」の実現へ向け、地域福祉推進の要としてさまざまな関係機関・団体と協働し、課題解決に積極的に取り組んでいただくようご期待申し上げます。

おわりに、貴会のますますのご発展と役職員の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

記念式典・記念講演 (H25.3.24)

オープニング

大堰・本郷保育園児によるアトラクション



記念式典



記念講演

「ペコロスの母に会いに行く」から考える～支えあって生きること～

漫画家・シンガーソングライター 岡野 雄一氏
西日本新聞社編集局編集企画委員会 木下 悟氏



ふれあい広場・思い出写真館



特別表彰



この特別表彰は、大刀洗町社会福祉協議会が進める地域福祉の推進に多大なる尽力をいただいた個人及び団体に対し、感謝の意を込め表彰を行うものです。

今回は下記の方々に表彰を行いました。

鈴木 加代子 (大刀洗民生委員児童委員協議会 副会長)
牛島 壽 (大刀洗町身体障がい者福祉協会 前会長)
四ヶ所 啓二 (大刀洗町ボランティア連絡協議会 前会長)
柳 邦彦 (大刀洗町ボランティアセンター 運営委員長)
森 蘭子 (障がい者当事者及び家族の会「語ろう会」 代表)
子ども見守り隊 (大堰・本郷・大刀洗・菊池校区)

大刀洗町社会福祉協議会20年のあゆみ

- 平成5年 2月 社会福祉法人設立認可申請書を福岡県知事に提出
- 3月 県知事より設立認可証を受け、社会福祉法人大刀洗町社会福祉協議会が発足する。
- 四ヶ所靖登（大刀洗町長）会長就任
- 大刀洗町役場民生課に事務所を置く
- 4月 町より「ホームヘルパー派遣事業」「福祉バス運行事業」を受託
- 事業として、心配ごと相談・結婚相談・独居高齢者牛乳配達・独居高齢者のつどい等を実施していた。
- 7月 社協だより（第1号）発行
- 12月 福祉ボランティア委員「さくらの会」（現：福祉協力員）の組織化
- 校区ごとに活動を計画し、独居高齢者宅への弁当配達やバスハイク、ふれあいのつどい等の見守り活動を開始する。
- 平成6年 手話講習会への支援開始
- 両筑ブロック在宅介護者のつどい実施
- 平成7年 1月 福祉入門講座の開催（全5回）
- 2月 四ヶ所靖登会長退任
- 4月 柳 武敏（大刀洗町長）会長就任
- 大刀洗町役場健康福祉課に事務所を移転
- 健康福祉課と協働し、高齢者サロン（現 ミニデイサービス）の立ち上げに向け準備を開始する。
- 共同募金配分により地域福祉活動車両を購入
- 平成8年 ミニデイサービス事業開始（中川・西本郷・鶴木・西大刀洗）
- 平成9年 ミニデイサービス事業開始（守部・東本郷・甲条・稲数）

大刀洗町における人口と高齢化の推移

年	町人口	65歳以上	高齢化率
昭和30年	13,861	934	6.7%
平成5年	14,532	2,351	16.2%
平成10年	15,252	2,735	17.9%
平成15年	15,554	3,074	19.8%
平成20年	15,578	3,301	21.2%
平成25年	15,518	3,607	23.2%



さくらの会発足会



稲数ミニデイ開所式

- 福祉体験教室（小中学生対象）実施
- 大刀洗町中央公民館に事務所を移転
- 夏休み施設交流ボランティアの開催（小郡市・北野町・大刀洗町社協同事業）
- 平成10年 3月 柳 武敏会長退任
- 4月 横溝芳夫会長就任
- ミニデイサービス事業開始（富多・春日・山隈・北鶴木）
- 平成11年 ミニデイサービス事業開始（床島・南本郷・上高橋）
- 男性の料理教室開始
- ホームヘルパー2級養成講座実施
- 福祉入門教室の開催
- 高齢者福祉を小地域で取り組むための「小地域ネットワーク活動」の開始を目的に講座を実施。
- 平成12年 3月 居宅介護事業（ホームヘルパー派遣）の終了
- 3月 横溝芳夫会長退任
- 4月 床島一弘会長就任
- ミニデイサービス事業開始（栄田・北山隈）
- 小地域ネットワーク事業実施に向けた準備の開始
- 福祉推進委員会・地区福祉活動委員会（行政区単位）を組織する。実施にあたり、先進地視察（大野城市・久留米市西国分）を行う。
- 独居高齢者世帯実態調査の実施
- 地域福祉権利擁護事業（現 日常生活自立支援事業）の開始
- ホームヘルパー2級養成講座実施



福祉体験教室（小中学生対象）



男性の料理教室



福祉入門教室



小地域ネットワーク活動について

平成13年 5月 ガイドヘルパー養成講座の実施
 大刀洗町ボランティア連絡協議会の発足
 ボランティア団体の連携を図るため組織化。11団体141名で構成された。初代会長として四ヶ所啓二氏が就任。
 ミニデイサービス事業の開始（菅野）
 小地域ネットワーク事業の開始
 地区福祉活動委員会組織化に向け、行政区ごとに説明のための座談会を実施。

平成14年 3月 「ぬくもりの館大刀洗」完成 事務所移転
 ミニデイサービス事業開始（鳥飼）
 家族介護者の会「とまり木の会」発足
 障がい者当事者及び家族の会「語ろう会」の発足

平成15年 2月 法人化10周年記念事業・記念誌の発行
 基準該当居宅支援事業の開始
 ミニデイサービス事業の開始（西栄田・高樋）
 福祉ボランティア委員「さくらの会」名称変更「福祉協力員」へ
 「ボランティア養成等事業」の実施（国庫補助事業）
 小郡市・大刀洗町社協合併協議会の設置

平成16年 5月 床島一弘会長退任
 6月 古賀芳男会長就任
 7月 小郡市・大刀洗町社協合併協議会の解散
 ミニデイサービス事業の開始（下高橋）
 ボランティア情報誌「ちょぼら」発行

平成17年 3月 大刀洗町ボランティアセンター設立記念式典の開催

平成18年 子ども見守り隊の発足



ぬくもりの館落成式典



法人化10周年記念式典



ボランティアセンター設立式典

ミニデイサービス事業の開始（今）
 ボランティアフェスティバルの開催（講師：島田洋七氏）

9月 県南ボランティアのつどい&子どもすくすくフェスタの開催

平成19年 第三者委員会の設置
 福祉有償運送事業の開始

平成20年 5月 古賀芳男会長退任
 6月 柳 好会長就任
 障がい児・者親の会「ほけっと」の発足
 大堰保育所・本郷保育所民営化準備

平成21年 4月 大堰保育園・本郷保育園の設立
 要援護者見守りネットワーク事業の開始
 校区センター指導員配置事業の実施（3か年）
 ミニデイサービス事業開始（高食）

平成22年 救急医療情報キット「いのちのバトン」事業の実施

平成23年 病後児保育事業の受託
 保育園園舎耐震診断実施

平成24年 3月 本郷保育園園舎改築工事
 9月 本郷保育園園舎完成

平成25年 3月 法人化20周年記念式典の実施



ボランティアフェスティバルの開催



子どもすくすくフェスタ



大堰保育園



本郷保育園



本郷保育園 新園舎完成

小地域福祉活動のあゆみ

要援護者見守りネットワーク事業

高齢者や障がいを持つ方々の地域での見守りを目的に、平成 21 年より実施。

元々、平成 12 年より「小地域ネットワーク事業」として社協が中心となり、各行政区に「地区福祉活動委員会」を組織化しミニデイサービスを中心に活動を行っていました。平成 20 年福岡県が「ひとり暮らし高齢者等見守り事業」を実施。それに伴い大刀洗町でも実施することとなり、社協が行っていた「小地域ネットワーク事業」を基礎にして、大刀洗町役場・地域包括支援センター・社協が連携し、平成 21 年「大刀洗町要援護者見守りネットワーク事業」を開始しました。

行政区別に「小地域協議会」を組織し、日常的な見守り・要援護者の抽出・定期的な情報交換を中心として、各区の状況に合わせた活動を行っています。

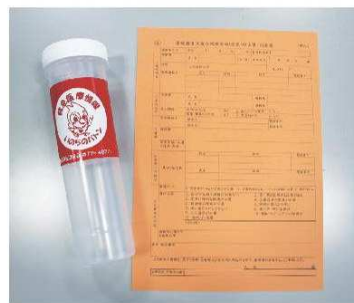
また、平成 24 年に町が開始した「災害時要援護者支援制度」と連携し、日常の見守りを基盤にした災害時の体制を行政区別の小地域協議会が担えるよう組織化を進めています。



いのちのバトン事業

この救急医療情報キット(いのちのバトン)設置事業は、高齢者世帯や障がい者世帯において、救急搬送や災害等の緊急の事態が起きた場合に、適切な処置が速やかに行われるよう必要な情報(緊急連絡先や健康状態など)を早く伝えるためのものです。平成 22 年今区が行っていた事業をもとに三井消防署と連携を組み、全町へと取り組みを拡大していきまし。大刀洗町の活動がきっかけとなり、現在は久留米広域消防本部管内の市町でこの「いのちのバトン」事業が広がっています。

また、「災害時要援護者支援制度」の開始に伴い、当初社協で調査していた「住民福祉台帳」を入れていましたが、「要援護者支援台帳」へ移行し、災害時にも避難時に携行できるようになりました。



ミニデイサービス事業

高齢者の引きこもり防止や健康づくり・仲間づくりを目的に、高齢の方でも歩いて集まれる場所＝公民館にて、地域の方々が中心となって運営するサロン。

平成 8 年に健康福祉課と合同で、各小学校区に 1 つずつのモデル地区を立ち上げ事業を開始しました。現在 25 行政区中 24 行政区で事業を実施。

小地域福祉活動の中心的な活動として、現在の見守り体制の基盤となった事業です。

午前中は血圧測定とレクリエーション、午後からは各区独自のプログラムを計画し一日を過ごしています。ほとんどの区で昼食を準備しており、その半数がボランティアによる手作りのものです。

普段と違い地域の皆さんで食べる昼食は、いつも増しておいしいのではないのでしょうか。



各区の小地域福祉活動

富多区

福祉活動の一環として、ミニデイ(鶴亀の会)が発足し 14 年になります。毎月 1 回、新しい発想も取り入れながら活動を行っています。会員、ボランティアで現在 40 名です。

ミニデイの役割は、健康寿命(健康に日常生活を送れる期)を延ばすことが基本理念であると考えております。

そのためには、社会福祉協議会・福祉協力員・民生委員・ボランティアの方なども積極的に参加され、運動及び料理の献立は、皆さんで話し合わせ美味い料理が出来上がります。又、各人の自慢料理も持ち寄られることで、昼食は、美味しく楽しく召し上がっておられ笑顔が絶えません。

『継続は力なり』『健康に勝る宝はない』ことをモットーに、世話人一同頑張っており、1 人でも多くの方に参加していただく様に努めてまいりたいと思っております。



菅野区

この度、菅野ミニデイも10周年を迎え、去年11月、ドリームまつりで表彰を受けてまいりました。

ボランティアに関しましては、小学校3・4年生の皆さんと、しめ縄飾り作り教室を開き、子どもたちにも大変喜ばれました。又、女性ボランティアの方々も参加され、小学生との交流もでき、楽しい午後のひと時を過ごしました。私たち一同も大変喜んでます。

ミニデイ会員の皆さんも、ボランティアで献身的なお世話をされ、地産地消をモットーに、手作りのデザートを出され大変喜ばれています。

ボランティア活動の一環として研修を行っており、24年度は飯塚方面に研修に行きました。

今後も会員の皆様と共に、皆さんに喜んでいただける行事が出来る事を心掛けていきたいと思えます。



高食区

ミニデイを開催するようになり、今年で8年になりました。

年に、2回、9月と3月に民生委員・福祉協力員・支援活動員さんの方々にお世話かけています。

9月は高食公民館で開催。高食の人口は、192名、対象者20名・男性9名・女性11名、出席者が男性6名・女性6名・計12名。

作業療法士の訓話・参加者との対話・老化防止の体操等2時間があつという間に終わり、食事会となりました。お世話いただいた方々に感謝し、日頃の話題に花が咲きました。3月の開催を楽しみに閉会。

高食も高齢化が進行。この先どうなることか……。



床島区

ひまわり会は、会員さん12名ボランティアさん16名合わせて28名です。

ミニデイは毎月開催、会員さんは75歳から90歳までの方で、ボランティアさんは60歳から74歳までの方です。

内容は、午前9時30分に開会の後、血圧測定、ゲーム大会、ゲートボール、ビデオ鑑賞や包括支援センターによる講話等で楽しく午後2時頃迄過ごします。

今年1月は、少し雨が降る中、床島八幡宮、宮地嶽神社、宗像大社に三社参りに行きました。参拝する時は雨もやんで暖かくなり、昼食を「民宿しらいし」でいただいて一日過ごしました。皆さん大変喜んでおりました。

ミニデイに参加の皆さんは、そのほとんどが野菜農家で元気に働いてありますので、1人でも多くの方に参加して頂く為、青果市場の休前日の野菜出荷の無い、火曜日に開催するよう工夫しています。

社協20周年記念本当におめでとうございます。



烏飼区

烏飼はたるの会（ミニデイ）は、発足して11年目を迎える事が出来ました。

おかげで、社会福祉協議会より表彰状を頂く事が出来ました。

烏飼区は、露地野菜中心の農家がほとんどで、多忙な方が多いにも関わらず、福祉協力員等のボランティアの方々の温かい支援があり感謝しております。

今後も、区長・老人クラブ・民生委員・福祉協力員・その他ボランティアの皆さんと協議しながら、はたるの会をより楽しく発展する事を見守っていききたいと思えます。

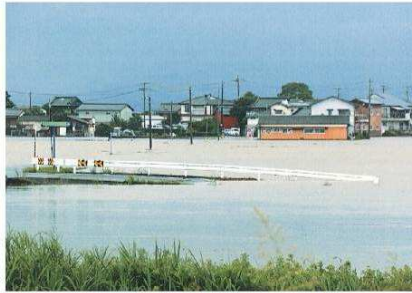


西原区

昨年、平成24年7月の北部豪雨により、筑後川、小石原川が氾濫、危険水位に達し避難勧告が発令されました。

我が区は、午前9時頃には、田畑や道路が海のようになり、その間、住民の安全確保や連絡が慌ただしい中で、消防の方の敏速な対応とその絆の深さにはとても感謝致しました。

今後は、この経験を生かして、要援護者見守りネットワークを推進拡大していきたいと思えます。



守部区

守部ミニデイ「なごむ会」の様子です。

12月は、ボランティアさんに作ってもらった土台にリボンや造花を飾り、クリスマスリースを作りました。

お互いに相談したり、見せ合ったりしながら、とてもにぎやかでした。

諸事情で参加できなかった会員さんには、その日速く出来た方に手伝っていただいたリースをプレゼントしました。

その後、ボランティアさん手作りの食事を食べて楽しい1日を過ごしました。

いつも笑い声でいっぱいのミニデイです。



東本郷区

地域福祉活動として、見守り活動やミニデイを行っています。

毎月第1水曜日にふれあいセンターで開催、20数名の元気な高齢者の方々が参加されて、会話ははずみ、和気あいあいと楽しく過ごされています。

昼食は、30名程のボランティアさんを3班に分け、月毎に当番制で食事を作っていただいています。品数も多く、愛情たっぷりの手作り昼食は、毎回大好評です。

東本郷ミニデイひまわりの会では、年間計画表を作成し、午前中は健康チェックとレクリエーション、午後は春と秋には花見、夏は七夕、新年はお楽しみ会を行い、子ども会や小学生・保育園児とのゲームや出し物、寸劇等会員さんと一緒に笑いながら楽しくその日を過ごしています。

特に、子ども達の訪問の時は、子どもの笑顔と優しさやエネルギーをたくさん貰って、会員やボランティアの皆さんも元気いっぱいになっています。これからも頑張っていきます。



南本郷区

ミニデイは、毎月第2木曜日にふれあいセンターで行っています。

午前中は、健康チェックやレクリエーション、午後は、ガンバルーン体操、ポピー見学、小学生や保育園児とのふれあい等を行い、会員同士の和気あいあいの会話で、楽しい1日を過ごします。

食事はボランティアさん手作りで「おいしいね」「味付けがちょうどいいね」等嬉しい言葉をいただいて、本当にやりがいがあります。

又、小地域協議会を年4回行っています。内容は、ミニデイの年間計画を立てたり、ミニデイで得た情報を交換し問題点を協議しています。

区長、民生委員だけでは出来ないところを福祉協力員やボランティアさんにカバーして頂いて、高齢者世帯・独居世帯の安否確認も毎月行っています。



西本郷区

西本郷ミニデイ「にじの里」は、発足後16年が経過しました。毎月1回、会員30名、ボランティア10名程で開催しております。しかし、男性会員の参加が少ないのが悩みの種です。

午前中は血圧測定を行い、レクリエーションを楽しんでいます。お昼は、ボランティアさん手作り料理をいただきながら談笑。午後からは、大正琴の演奏等で過ごします。又、年に5回は、屋外研修として温泉、花見、三社参りを行って会員の親睦と交流を行っています。

小地域協議会では、区長・民生委員を中心に老人クラブ会長や福祉協力員、高齢者相互支援活動員、ボランティアの方々19名で運営、高齢者夫婦世帯の確認とマップ作り、又、訪問を行い、その問題点を共有しています。

見守り活動を行うには、「おせっかい」と言われてもいいから、地域で支え合う絆を深めていく事が大切だと思います。

今後の課題として、1人暮らしの災害時の連携をどうするかを考えています。



甲斐区

甲斐ミニデイ「もりの里」が誕生して16年目を迎えました。

現在の会員は51名。活動内容は、午前中グラウンドゴルフ、午後は集落センターに移動して、健康福祉課・社会福祉協議会の指導による健康教室、レクリエーション、食事会、バスハイク等様々な活動をしています。

ミニデイ終了後は、小地域協議会を区長・民生委員・老人クラブ役員、福祉協力員で行い、要援護者の安否確認、情報交換を協議しています。

又、見守り活動も定期的に行い、まだミニデイへ来られてない方へ参加を呼びかけています。



春日区

ミニデイ「春壽の会」は年間10回です。その内お出かけ3回、花見、温泉行きを楽しんでいます。

午前中は健康チェック・血圧測定・レクリエーションを行い、ボランティアの方々に昼食を作っていただき感謝しています。

午後は、支援センターの話・ビデオ鑑賞をしています。特に公証役場より来ていただいたの講話は、皆さん勉強になったと話しておられました。

又、大正琴メンバー7人による演奏で懐かしい歌を歌い、その間かくし芸にひよっとこ踊りがあってとても面白く楽しませて頂きました。



西柴田区

西柴田地区では、地域の方々の親睦と健康づくりを目指してミニデイ（毎回30名前後）ラジオ体操（毎朝14名～15名）の参加で活動を行っています。ミニデイでは、ボランティアさん達の知恵と愛情たっぷりの昼食が好評です。

健康チェック、支援センターから悪徳商法対策などの講話等も行ってもらい楽しく過ごしています。

ミニデイ終了後、ボランティアの方々や反省会を行い地域の情報、日頃の見守りについて意見交換しています。

又、地域活動で、青壮年の夜警、夜回り「火の用心」や差義長のモグラ打ち等、昔から地域に伝えられている風習を子ども達と一緒に後世に伝え継ぐ大切な活動だと思っています。

昨年暮れには、町から支給された防災グッズを、青壮年部で使用の仕方や設置場所を確認し、災害時に高齢者や子ども達を安全に誘導できるように講習を開催しました。

今後も、笑顔で元気な区を目指し活動して行きたいと思います。



栄田区

栄田区は、ミニデイが発足して11年になります。月1回の開催で、和気あいあいと過ごしています。90歳を超えても元気に来られる会員さんがおり、元気をもらっています。

また、昨年の九州北部豪雨を終えて、要援護者をはじめとした地域の見守り体制の強化を図っています。“自分たちの身は自分たちで”という思いで、災害の種類に応じた避難場所や避難方法など、隣組単位でのより具体的な話をしています。平常時は女性、災害時は男性の支援員を決め、より実働的に活動が行える体制を整えています。

地域の実情も様変わりしていますが、今後も日頃のつながりを大切に、顔の見える交流を続けていきます。



稲敷区

社協法人20周年記念おめでとうございます。

ミニデイ「花の里」では、年間計画を通して活動しています。健康チェックから始まって、レクリエーションでは、足腰の痛みが分なくなる程一生懸命になって、元気一杯です。昼食は、弁当に切り替えています。ボランティアの方々には、朝早くからその他にも様々な料理を作って頂いてとても感謝致しております。

最近、高齢者の方で、1人でも多くの方に参加していただく為、ボランティアの方が車で送迎されています。地域の方が皆集まれば、世間話はずんで楽しそうです。その様子を見てみると、「元気にしてあるな」と健康状態が分かって安心しております。ミニデイ活動は、ボランティアの皆様の協力があってこそ成り立っているのだと感謝しています。若い人には声を掛けておりますが...

その他、見守り会による1人暮らしの方への訪問を行い、声を掛けて、その方の様子を見守っています。

今後、沢山の皆様に参加して頂きます事を期待しながら、花の里が地域の憩いの場となり益々発展します様に願っております。



高槻区

高槻区では、孤独を防ぐ見守り活動として、区の中の1人暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯に対して声掛けや定期訪問活動による安否確認を福祉協力員と民生委員で行っています。

また、区長、区の役員・老人クラブ・民生委員・福祉協力員・ボランティアの構成でミニデイ「いちごの里」をお話させて頂いています。

午前中は健康チェック、昼食は、ボランティア・福祉協力員の心温まる手作りお弁当を頂き、午後には、レクリエーションで楽しい1日を過ごしています。

9月には区主催の敬老式典、11月にはゲートボール大会を開催。ゲーム終了後には、山田民生委員さんが新鮮な野菜を生産者の方より集められ参加された方々はもちろん、欠席された方へも差し上げられ、とても喜ばれています。皆さん、ミニデイやボランティアに参加されませんか。



上高橋区

上高橋区では、平成13年から70歳以上の方を対象に毎月1回公民館でミニデイを開催しています。

最近行った、小学生のミニデイ訪問を紹介いたします。

公民館に隣接する大刀洗小学校の5年生の皆さんが、「高齢者とのふれあい体験学習」を行いたいという事で、ミニデイの会場に訪れて来てくれました。

子ども達、高齢者数人ずつが幾つかの輪になって、カルタ取りをしたり、肩もみをしたりと和ませてくれました。

3世代同居の家庭が少なくなった今日、私達にとっても心癒される一時でした。



今 区

社協法人化20周年おめでとうございます。
この10年、地域での福祉活動もかなり様変わりした様に思います。

特に、東日本大震災以来、防災意識も高まり、地区全体で考えられる様になりました。

今区では、見守りに合わせて、災害での対応も考え、福祉部会を立ち上げました。区長以下、区民代表を委員とし、対応にあたります。

高齢化率も約25%となり、ミニデイも少しずつ内容が変わってきました。

区民の健康意識も高まり、公民館で月3回の健康教室を開催しており、行政任せではない自分達の為の福祉活動を目指していきたいと考えています。



鷺木区

ミニデイ「ニコニコ会」は高齢者の方の健康と交流の場として、平成8年発足以来、16年を経過し、現在、15名の会員を区長・民生委員・福祉協力員でお世話をしております。

計画表に基づき、主な行事として、年に3回のお出かけ、5月はキンピール園のポピー花見、また、10月、3月は温泉に行きます。

公民館では、フラダンスを見たり、大正琴を聞いたり、健康ボール体操を行ったり、その中でも、クリスマスの飾り作りは、初心に帰り熱心に作られ楽しいふれあいの場となっております。

今後は、会員の方々多数の参加を募り、地域交流活動のさらなる充実を図りたいと思います。



下高橋区

下高橋ミニデイは、隔月毎の活動（年7回開催）ですが、毎回60名近くの参加者とボランティアが集まり、公民館は毎回大盛況です。

これも、民生委員さん・協力して頂くスタッフの方々のお力添えであると思います。

また、このスタッフの皆さんは、要援護者見守り活動にも協力して頂いております。年間3回小地域協議会を実施し、日常行っている見守り活動の情報交換等を行っています。



中川区

中川ミニデイ「ひばりの会」発足してから17年になります。集い・笑い・運動をモットーに行っています。

活動の中で、大刀洗小5年生との交流では、昔懐かしい竹とんぼやお手玉遊び等を行いました。ジャンケン大会では、童心に帰って楽しく交流、限られた時間ではありましたが、子ども達の元気を貰った一時でした。

その他、三社参り、ぶどう狩り等、町のバスで送迎して頂き、皆さん楽しみにされています。



山隈区

ミニデイのお世話をしていた時代から、現在お世話になるようになり、私も歳を重ねました。毎月1回の事業ですが、参加する私達を笑顔で歓迎していただきいつもホッと致します。中でも、季節にあった材料で工夫した献立が作られ、いつも美味しくいただいております。

大正生まれの最高齢の方も居られますが、高齢の方が身近な場所で気軽に一緒に楽しめる事がこの会の良いところだと思います。

何とんでも、食後の会話では、お互いに慣れ、気兼ねなく話せまし、世代間の活性化となっているのではないのでしょうか。

この会が、20年も続くのは、地域の方々に対するボランティアの温かい気持ちが込められているからだと思います。

今後も末永く、この会が継続される事を念じて止みません。



西大刀洗区

小地域福祉活動の大きな柱であるミニデイ事業。現在会員35名・ボランティア16名・毎月1回開催しています。

内容は、健康チェックから始まり、その後、ストレッチ体操・ボール体操・レクリエーション・支援センターの健康講話などを行います。

毎年計画しているのが、年3回のお出かけや8月は、地域の小学生との七夕飾り、9月は菊池保育園児との交流会です。

また、会員さんの誕生日はケーキを添えてみんなでお祝いをします。

一番、皆さんが楽しみにしているのが、昼食会で、地域で採れた旬の野菜を使つての真心のこもった手作り料理は大好評です。2月の節分は、健康を願つての恵方巻、春の花見弁当、秋の栗ご飯等、毎回おいしい食事と楽しいおしゃべりと笑いでいっぱいです。

今後も、人と人のつながりの大切さ、温かさをモットーに地域の方々と一緒にミニデイ事業を推進、拡充していきたいと考えています。



北鶴木区

北鶴木区では、小地域協議会主催で、町や社会福祉協議会、包括支援センターの支援を受けて、要援護者の見守りを念頭に置いた『防災フェスタ』を実施しました。

『絆から結束へ』をスローガンに掲げ、婦人会や青壮年部の協力のもと、当日は老若男女150名を超える地域住民が自主的に集まり絆を深めることができました。今後も、『フェイス トゥフェイスの理念』(互いに向き合つて眼を見て話す。)を大切に、みんなが笑顔で挨拶を交わし合えるような、住みよい地域づくり、住みよい町づくりに、一步一步励んでいきます。



北山隈区

北山隈区では、平成23年7月に小地域協議会が発足致しました。

活動は、区の役員や隣組長、民生委員、福祉協力員を中心に、日頃からの見守り活動の中から収集した情報や諸資料に沿つて、近時状況を把握し、定期的に会合を行い、情報を共有しています。

ミニデイは、多くのボランティアさんの協力のもと、十数年継続しています。

内容も多種多様で、ボール体操や保育園児との交流など、バラエティに富み、参加者から好評を得ております。



保育園事業

事業内容

平成20年7月に大刀洗町より町立保育所（大堰保育所・本郷保育所）の民営化の打診を受け、町より派遣された職員が中心となり民営化の準備を開始する。

翌平成21年4月1日より、社会福祉法人大刀洗町社会福祉協議会大堰保育園・本郷保育園として運営を開始する。

平成21年4月現在の園児数（大堰保育園48名、本郷保育園131名）も、平成25年4月時点で（大堰保育園79名、本郷保育園156名）と順調に伸びている。

また、保育園事業の開始に伴い、本法人の職員数も9名から60名を超えるようになり、0歳児から高齢者まで、幅広い福祉を提供することができる組織となりました。

大堰保育園

耳納連山が一望に見える大堰保育園は、自然に囲まれたのどかな場所に立地しています。園児たちは広い園庭で体を思い切り動かし、自然型保育（菜園活動・クッキング・地域交流・散歩など）を通して、興味や関心・感動・聞く力の土台を育み、心豊かな保育を目指しています。

また、グローバル化と日本文化の継承のため、英語教室・お茶教室を実施。意欲的な表現の中で豊かな感性を育てています。



本郷保育園

地域と共に、心と体を育む保育園、そして子育て支援の輪を広げていく保育園を目指し、食育（畑体験やクッキング等を通じた食の大切さ、命を大事にする心の育成）、知育（造形教室・英語教室・マーチング鼓隊等の様々な体験を通じた育成）、徳育（地域の行事や高齢者とのふれあいを通じた思いやる心の育成）から豊かな感性としなやかで強い心と体づくりを目指しています。

また、平成23年から「病後児保育事業」を町より受託し、平成24年には老朽化が進んでいた平屋建て園舎を新築。職員の研修に力を入れ資質の向上を図り、施設面・事業面とも充実が図られています。



ボランティアのあゆみ(団体紹介)

大刀洗町ボランティア連絡協議会

平成13年の発足以来、初代会長の「住民ひとりひとりが“好きなこと”“得意なこと”を、何かひとつ誰かにボランティア活動する町に」との思いから「ひとり1ボランティア」をテーマに活動してきました。現在、11団体約130名のボランティアが参加し交流を深めています。平成24年度は新しい取組みとして、さまざまな福祉のテーマをとりあげ、会員に限らず誰もが気軽にお茶を飲みながら参加できる「ほっこり井戸端サロン」を4回実施、新たな出会い・交流の場となりました。これからも、ボランティアの輪を広げていきたいと思っています。



配食ボランティア青い鳥

平成11年より、高齢者だけでお住まいの世帯や障がい者世帯等を対象に、月2回夕食を作り、安否確認を兼ねて届けています。旬の野菜をたっぷり使った身体にやさしい手作りのお弁当は、「とても美味しい、届けてもらってありがたい」と喜ばれています。



たんぼぼの会

活動を始めて15年。聖ヨゼフ園など障がい者施設で、お話し相手や創作活動・イベント時の介助等、障がいを持った方々のお手伝いをしています。「笑顔を忘れない」「勉強にさせてもらっている」「ボランティアに年齢はない」をモットーにがんばっています。



お話ほっとたいむ

無理せず、細く、長く「続ける」事をモットーに、夢育てをしましよと呼びかけ活動を始めて26年目。学校・図書館・公民館・子育て支援センター等で、読み聞かせ、お話、紙芝居をして、皆で“ほっとたいむ”を過ごしています。



ナレーションサークル風

ナレーションサークル風は、朗読ボランティアです。現在15人のメンバーで、毎月の町の広報紙の録音CDの作成、保育園や小中学校、ミニデイ、障がい者施設での朗読会、ドリームホールでの朗読劇など、声に出して心を伝え、皆さんに元気になっていただこうと活動しています。



めだかの楽校

私達はアンビシャス広場（子どもの居場所づくり）で活動しています。月に10回位の活動で、一人1回程度参加しています。こまサークルを始め、自主性を大事にしたさまざまなサークルを通して、子ども達と向き合っています。

子どもに教え込むのではなく、一緒に遊びながら、何かそこに地域の温かみを感じてもらいたいと頑張っています。



スマイル

ボランティア情報誌「ちょぼら」の編集を始めて早10年。年3回の発行を休むことなく続けてきました。

町内のボランティア活動をされている方を広く紹介して、「ボランティアの素晴らしさを皆さんに伝えたい」という思いで活動しています。これからも和気あいあいと楽しくやっていきたいと思います。どうぞよろしく。



青い鳥文庫

子どもにもおとなにもやさしい気持ちを届けたくて、読み聞かせを続けています。図書館でのお話し会を中心に、七夕会やクリスマス会などの図書館のイベントにも参加しています。

もっと図書館を中心とした読み聞かせの輪が広がればと願っています。



ステージオペレーター

ドリームセンターのオープン以来、ドリームまつりや文化協会の芸術祭など町や地域の行事・イベントなどで、音響や照明の効果を増すためのお手伝いをしています。裏方の仕事ですが、興味のある方・仲間を募っています。



たけのこクラブ

たけのこクラブは今年5周年の節目を迎えます。たけのこクラブの活動は年4回の美化活動と廃品回収です。平成22年に活動の収益金を社会福祉協議会へ寄付。平成23年5月には東日本大震災被災者への義援金として送ることができました。これも地域の皆様のご協力があったことと感謝しています。

これからも福祉のためにがんばってまいりますのでご協力をよろしく申し上げます。



子ども見守り隊

平成18年より、子どもの通学路における安全・安心を見守るボランティア活動を、出来る人が出来る時に、自主的に活動しています。

子ども達とのふれあい・学校との連携・地域の方との交流が、安心・安全を見守る力となっています。



矢車草

平成20年に発足。2ヶ所の高齢者施設で利用者と一緒的車椅子レクダンスを楽しんでいます。「障がいを持っている人も、高齢者も、健常者も、ともに音楽とダンスを楽しめる」ということが1番の魅力です。

町のドリームまつりでは、毎年町民の皆さんにも協力してもらってダンスを披露しています。



子育てボランティアちゃお²

子育て支援センターちゃおで、乳幼児とふれあったり、子育て中のママの相談相手になったり、遊びの見守り、また、ちゃおの行事に参加してお手伝いをするなど、大刀洗町の子育て支援をしています。



もちのきの会

暮らしやすい町づくりに男女共同参画の推進は不可欠と活動を始めて5年目となりました。

主な活動は、

- ・あすばる男女共同参画地域づくり事業
- ・あすばる出前講座・シンポジウム
- ・講演会
- ・近隣市町村との交流会等です。

今後は審議会等の女性登用率アップに努めたいと考えています。



折鶴会

折鶴会は、平成19年より活動を始めました。毎月第3火曜日に、聖ヨゼフ園で折り紙や簡単な作品づくりをしています。利用者さんの笑顔に接することがうれしく、健康に注意して長く続けられたらと思っています。



歴代役員一覧

役職名	選出母体	1期	2期	3期	4期					
		H5.3.22～H7.3.21	H7.3.22～H9.3.21	H9.3.22～H11.3.21	(役員)H11.3.22～H14.5.31 (評議員)H11.3.22～H14.4.30					
会長	町長・学識経験者	四ヶ所 靖章	柳 武敏	横溝 芳夫	床島 一弘					
副会長	行政(助役・副町長)	野瀬 元次	四ヶ所 和利		重石 亮					
	議会(議長・議長)	宮田 登	平田 喜次郎		安丸 典信					
理事	議会(総務文教厚生委員長)	床島 一弘	青木 康雄							
	教育委員長	小嶋 左昌	横溝 芳夫	安丸 益雄	安丸 益雄					
	民生委員児童委員協議会	三坂 一夫	鷹枝 孝							
	民生委員児童委員協議会	久保山 和美	白水 浅人							
	婦人会長(女性団体)	服部 チサト	安丸 マツエ							
	学識経験者				中原 明					
	学識経験者				花等 順子					
	区長会									
	老人クラブ連合会									
	ボランティア団体									
	社会福祉施設									
	施設長(保育園)									
監事	議会(副議長・議員)	平田 喜次郎	久保山 文利	中島 恒樹						
	民生委員児童委員協議会	二宮 信子	中村 久松	森 美恵子						
評議員	議会	池田 日廣支	平塚 弘俊	青木 秀夫						
	老人クラブ連合会	安丸 米實	中原 明	渡辺 正利						
	身体障がい者福祉協会		牛島 壽							
	遺族会	久保山 秀登	安丸 米實	柳 響						
	保育園代表	高橋 弘依		辻 千枝子						
	母子寡婦福祉会	秋吉 チヅ子	空席	上村 敬子						
	区長会	平城 常義	小嶋 左親	松橋 虎彦						
	区長会	白石 憲	平田 敏治	渡辺 康典	平田 忠義	久保山 龍也	古賀 芳男	森田 範夫		
	区長会	平田 正則	久保山 久義	久保山 久義	櫻町 弘	久次 等	中垣 嘉則	平田年春	田原原利	青木康雄
	区長会	黒岩 豊年	安丸 忠義	横村 茂	松尾 常治	松尾 常治	写楽 連	安丸正敏	堀内滋夫	山内 朋
	民生委員児童委員協議会	黒岩 愛子		森 美恵子				久保山 祥子		
	民生委員児童委員協議会	堀内 雅雄		秋吉 忠義		古賀 直治		鈴木 加代子		
	民生委員児童委員協議会	山川 泰弘				山口 和成		重松 清美		
	教育委員会			堀内 剛毅				大賀 正義		
	総務課長	四ヶ所 和利		森 一雄				平戸 裕文		
	人権擁護委員	小塚 友貞		一木 慶博		佐々木 種保		草野 芳昭		
	青少年健全育成町民会議							中村 哲夫		
	学校					高宮 靖		大橋 鉄雄		
	ボランティア代表					堀内 八重子		安丸 裕子		
	行政(健康福祉課)									
	社会福祉施設代表									
	商工会									
	行政(生涯学習課)									
	消防団									
	学識経験者									
	学識経験者									
	顧問	町長								

5期	6期	7期	8期	9期	10期					
(役員)H14.6.1～H16.5.31 (評議員)H14.5.1～H16.4.30	(役員)H16.6.1～H18.5.31 (評議員)H16.5.1～H18.4.30	(役員)H18.6.1～H20.5.31 (評議員)H18.5.1～H20.4.30	(役員)H20.6.1～H22.5.31 (評議員)H20.5.1～H22.4.30	(役員)H22.6.1～H24.5.31 (評議員)H22.5.1～H24.4.30	(役員)H24.6.1～H26.5.31 (評議員)H24.5.1～H26.4.30					
床島 一弘	古賀 芳男			柳 野						
	重石 亮		中山 哲志		佐藤 嘉洋					
安丸 典信	中島 恒樹	多田 時治	平山 賢治	花等 順子	森田 勝典					
平田 一成	多田 時治									
安丸 益雄	中原 健二		長野 和夫		河野 政之					
	鷹枝 孝	重松 清美		鷹枝 孝						
	白水 浅人	重松 清美								
安丸 マツエ				森 美恵子						
	中原 明									
	花等 順子									
		高松太助・廣田和男・中原為男	中原 為男	森山 剛	岡 廣人	平田 博通	平城 俊作			
		堀内 剛毅		柳 邦彦			田中 公介			
				四ヶ所 晋二			福村 千代美			
				萩原 アサエ			梶倉 政則			
							鈴木 敏枝			
中島 恒樹	平田 一成		花等 順子	中村 忠徳	平田 信將					
森 美恵子	柳 邦彦		鈴木 加代子				平城 俊子			
青木 秀夫	安丸 忠義		中村 忠徳		平山 賢治					
青木 康雄	安丸 正敏	森田 範夫								
		牛島 壽					井手 隆			
柳 響			平田 一行				堤 國彦			
	辻 千枝子		鳥羽 清治		高橋 弘之		鳥羽 清治			
		上村 敬子					坊井 典子			
		長野 賢司	中原 為男	高松 太助	中原 為男	平城 直彦	田中 博晃	廣瀬 正治		
森田 範夫	中村 義幸	東 朝彦	白石 忠美	日比生 博文	高松 太助	森田 勝典	川野 博	平田 輝男	柳 繁彰	
仲野 友清	東原 博幸	山内 常治	平田 三郎	南島 康人	大石 勝敏	森山 剛	平田 信將	櫻町 豊	岩崎 正人	森 一雄
森 一雄	古賀 正臣	仲 満								
	久保山 祥子	秋吉 徳之		井上 聖基				平田 昌徳		
	鈴木 加代子		平田 眞裕美		柳 邦彦			堀内 武英		
	重松 清美		小笠 清		原山 義康			田代 盛之		
	大賀 正義			中原 健二		倉健 君明		安武 満子		
	平戸 裕文									
草野 芳昭	野田 豊彦			宮澤 武久				林 安重		
中村 哲夫				田中 正起				宮崎 誠		
若菜 徳子	萩野 清照		林 ヒデアヨ	藤田 利洋子	堀田 秀茂		後藤 英幸			
	毛利 日出子			庄島 美智子				矢未 美和		
平山 政之	久保山 修一	久保山 修一	平田 英憲	東 義一	矢野 千恵子	大浦 克司				
		飯田 耕一郎					久保山 彦彦			
			中原 光昭		馬田 博之		高松 耕作			
				堀内 信次		福永 康雄				
			大場 雅之				平田 雅次			
					吉原 ヒロ子					
							平田 榮雄			
	平田 喜次郎						安丸 国勝			

編集後記



『法人化 20 周年の節目の年を迎え』

法人化 20 周年記念事業
実行委員長 佐藤 嘉洋

大刀洗町社会福祉協議会では、本年3月の法人化 20 周年に当たり記念式典を開催しましたところ、多数の方にご参加いただき厚くお礼を申し上げます。これもひとえに、長年に亘り本会を支えていただいた地域のボランティアの皆様をはじめ、福祉・保健・医療等に関わる様々な方々のお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

平成 22 年の国勢調査の結果によると、大刀洗町の高齢化率は 22% と全国平均を下回ってはいるものの、我が町にもいわゆる超高齢社会が到来しており今後も更なる高齢化が見込まれます。

今日の社会福祉は、法人化した 20 年前と比べ一層複雑多岐に亘っておりまして、本会の活動について乳幼児から高齢者まで全ての住民が対象であり、また担い手であると考えております。

本会においては、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる町を目指し、住民の皆様と協働しながら、「住みたいまち大刀洗、住んで良かった大刀洗町」をスローガンに活動を進めて参りますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

法人化20周年記念事業実行委員名簿

	氏名	選出母体	担当
実行委員長	佐藤 嘉洋	大刀洗町副町長・社協副会長	全体統括
副委員長	平田 信將	大刀洗町議会議員・社協監事	記念誌部会
副委員長	平城 悦子	民生委員児童委員協議会・社協監事	式典部会
委員	森田 勝典	大刀洗町議会議員・社協副会長	式典部会
委員	福村千代美	ボランティア連絡協議会会長・社協理事	式典部会
委員	森 一雄	菊池校区区長会長・社協評議員	記念誌部会
委員	田代 盛之	民生委員児童委員協議会・社協評議員	記念誌部会
委員	井手 隆	身体障がい者福祉会会長・社協評議員	記念誌部会



大刀洗町社会福祉協議会法人化 20 周年記念誌

平成 25 年 3 月 発行

編集発行：社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会
〒 830-1201 三井郡大刀洗町大字富多 819
ぬくもりの館 大刀洗内

印 刷：井上紙工印刷株式会社
〒 838-0015 福岡県朝倉市持丸 625-1